

14時30分解禁

平成23年3月 全国百貨店売上高概況

平成23年4月26日

I. 概況

1. 売上高総額	4,624億円余
2. 前年同月比	-14.7% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス)
3. 調査対象百貨店	89社 259店 (平成23年2月対比-1社・+1店)
4. 総店舗面積	6,470,482㎡ (前年同月比:-1.9%)
5. 総従業員数	91,106人 (前年同月比:-5.7%)
6. 3か月移動平均値	8-10月 -2.5%、9-11月 -1.6%、10-12月 -0.6%、 11-1月 -1.1%、12-2月 -0.8%、1-3月 -5.4%

【参考】平成22年3月の売上高増減率は-3.5% (店舗数調整後)

【3月売上の特徴】

2か月ぶりの前年同月比マイナスとなった。

3月は、東日本大震災の影響により、被災地の東北及び計画停電が実施された関東を中心に売上の減少幅を広げる結果となったが、4月に入って情勢は落ち着き、一部増収店舗も見られて、中旬までの全国の売上動向はほぼ前年並みの水準で推移している。

3月売上の主なマイナス要因では、被災店舗の復旧作業による臨時休業や売場閉鎖、また東電管区内の計画停電による営業時間短縮などから、東北及び関東地区の大半の店舗が通常の営業体制をとれなかったこと、震災直後の全国的な自粛ムードや消費意欲の減退から衣料品・身のまわり品・宝飾品などの高額商材が不振だったこと、中旬以降に予定されていた催事の多くが中止又は延期され集客に影響したこと、地震による交通規制やガソリン不足で物流が一時停滞し商品調達に支障が出たこと、全国的に例年以上の冷え込みで春物商材が不調であったことなどが報告されている。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「3月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 強い高気圧の勢力が強く、冬型の気圧配置になる日が多かった。このため北・東日本日本海側では曇り・雨・雪の日が多く、太平洋側は晴れの日が多かった。気温は北海道を除き全国的にかなり低かった。

(2) 営業日数増減 30.3日 (前年同月比-0.5日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日 (" ±0日)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した：15店、②変化なし：17店、③減少した：102店、④不明：40店

(5) 3月歳時記 (ひな祭り、彼岸、ホワイトデー、卒業・入学、新社会人) の売上 (同上)

①増加した：5店、②変化なし：22店、③減少した：73店、④不明：74店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する：19店、②変化なし：45店、③減少する：62店、④不明：48店

NEWS LETTER

全国百貨店 売上高速報 2011年03月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 () が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	462,470,874	100.0	-14.7 (-14.9)
10都市	298,226,396	64.5	-14.1 (-13.4)
札幌	12,517,510	2.7	-8.4
仙台	2,789,996	0.6	-61.1
東京	103,130,611	22.3	-21.5 (-21.8)
横浜	23,735,535	5.1	-21.7 (-22.3)
名古屋	31,150,386	6.7	-4.4 (-6.9)
京都	19,844,350	4.3	-6.2 (-7.7)
大阪	62,770,086	13.6	-3.2
神戸	13,840,141	3.0	-5.6
広島	11,839,662	2.6	-4.0
福岡	16,608,119	3.6	-12.9 (17.4)
10都市以外の地区	164,244,478	35.5	-15.9 (-17.6)
北海道	3,110,169	0.7	-11.3
東北	7,970,397	1.7	-33.3
関東	73,220,127	15.8	-23.1 (-26.0)
中部	13,693,705	3.0	-8.0
近畿	17,056,712	3.7	-3.8
中国	12,295,328	2.7	-4.6
四国	9,546,240	2.1	-6.3
九州	27,351,800	5.9	-5.3 (-6.6)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	462,470,874	100.0	-14.7 (-14.9)
紳士服・洋品	27,246,428	5.9	-20.0 (-20.4)
婦人服・洋品	101,685,888	22.0	-20.9 (-21.5)
子供服・洋品	20,356,161	4.4	-11.4 (-11.5)
その他衣料品	12,849,730	2.8	-14.1 (-15.2)
衣 料 品	162,138,207	35.1	-19.2 (-19.7)
身のまわり品	54,825,290	11.9	-19.8 (-19.7)
化粧品	26,658,405	5.8	-8.7 (-8.7)
美術・宝飾・貴金属	18,765,211	4.1	-20.8 (-21.3)
その他雑貨	20,763,224	4.5	-12.4 (-12.6)
雑 貨	66,186,840	14.3	-13.6 (-13.8)
家 具	7,375,275	1.6	-1.7 (-2.1)
家 電	1,797,296	0.4	-8.8 (-9.0)
その他家庭用品	16,494,051	3.6	-13.5 (-14.2)
家 庭 用 品	25,666,622	5.5	-10.0 (-10.7)
生 鮮 食 品	26,871,617	5.8	-6.1 (-5.9)
菓 子	38,537,348	8.3	-10.3 (-8.9)
惣 菜	26,522,107	5.7	-9.0 (-8.3)
その他食料品	33,773,112	7.3	-6.9 (-7.8)
食 料 品	125,704,184	27.2	-8.2 (-7.9)
食 堂 喫 茶	12,299,780	2.7	-18.7 (-18.6)
サ ー ビ ス	5,010,194	1.1	-13.5 (-14.9)
そ の 他	10,639,757	2.3	1.9 (1.4)
商 品 券	20,828,699	4.5	-3.7 (-4.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | | |
|------------------|--------|--------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -14.1% | (店舗数調整後／2か月ぶりマイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -15.9% | (// ／2か月ぶりマイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-14.1	-9.0	2か月ぶりマイナス
札幌	-8.4	-0.2	13か月連続マイナス
仙台	-61.1	-0.8	2か月ぶりマイナス
東京	-21.5	-5.2	3か月ぶりマイナス
横浜	-21.7	-1.2	3か月ぶりマイナス
名古屋	-4.4	-0.3	2か月ぶりマイナス
京都	-6.2	-0.2	2か月ぶりマイナス
大阪	-3.2	-0.4	8か月連続マイナス
神戸	-5.6	-0.2	8か月連続マイナス
広島	-4.0	-0.1	37か月連続マイナス
福岡	-12.9	-0.3	32か月連続マイナス
10都市以外の地区	-15.9	-5.8	2か月ぶりマイナス
北海道	-11.3	-0.1	5か月連続マイナス*
東北	-33.3	-0.7	36か月連続マイナス*
関東	-23.1	-4.1	2か月ぶりマイナス
中部	-8.0	-0.2	2か月ぶりマイナス
近畿	-3.8	-0.1	2か月ぶりマイナス
中国	-4.6	-0.1	2か月ぶりマイナス*
四国	-6.3	-0.1	45か月連続マイナス
九州	-5.3	-0.3	43か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、昨年9月以来6か月ぶりに全品目がマイナスとなった。また、その他の品目も全品目がマイナスとなり、すべて先月より水準を落とす結果となった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-14.7	—	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-20.0	-1.3	5か月連続マイナス
婦人服・洋品	-20.9	-5.0	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-11.4	-0.5	5か月連続マイナス
その他衣料品	-14.1	-0.4	37か月連続マイナス
衣料品	-19.2	-7.1	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	-19.8	-2.5	2か月ぶりマイナス
化粧品	-8.7	-0.5	3か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	-20.8	-0.9	49か月連続マイナス*
その他雑貨	-12.4	-0.5	40か月連続マイナス*
雑貨	-13.6	-1.9	37か月連続マイナス
家具	-1.7	0.0	40か月連続マイナス
家電	-8.8	0.0	3か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-13.5	-0.5	6か月ぶりマイナス
家庭用品	-10.0	-0.5	3か月ぶりマイナス
生鮮食品	-6.1	-0.3	5か月連続マイナス*
菓子	-10.3	-0.8	2か月ぶりマイナス*
惣菜	-9.0	-0.5	5か月連続マイナス*
その他食料品	-6.9	-0.5	3か月ぶりマイナス*
食料品	-8.2	-2.1	2か月ぶりマイナス
食堂喫茶	-18.7	-0.5	5か月連続マイナス
サービス	-13.5	-0.1	4か月連続マイナス
その他	1.9	0.0	12か月連続プラス
商品券	-3.7	-0.1	3か月ぶりマイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成23年3月 東京地区百貨店売上高概況

平成23年4月26日

I. 概況

1. 売上高総額	1,031億円余
2. 前年同月比	-21.5% (店舗数調整後/3か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-26.4%(82.3%) : 非店頭14.0%(17.7%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	14社 28店 (平成23年2月対比+2店)
5. 総店舗面積	937,107㎡ (前年同月比:0.3%)
6. 総従業員数	20,369人 (前年同月比:-1.4%)
7. 3か月移動平均値	8-10月 -1.3%、9-11月 -0.2%、10-12月 0.8%、 11-1月 0.4%、12-2月 0.8%、1-3月 -6.6%

[参考] 平成22年3月の売上高増減率は-5.1% (店舗数調整後)

【3月売上の特徴】

- (1) 震災後の計画停電の影響で、都内各店共に営業時間の短縮あるいは臨時休業などを余儀なくされた結果、入店客数は売上同様に前年比で2~3割減少している。
- (2) 震災による消費マインドの冷え込みから、3月上旬まで復調傾向にあった主力の衣料品や服飾雑貨などファッション商材全般で苦戦した。
- (3) 防災意識の高まりや消費者の買いだめ心理を背景に、水、米、乾物・レトルト、瓶・缶詰などの保存食品、並びにリュック、懐中電灯、使い捨て肌着などの防災用品が大きく動き、一部店舗では需要を賄いきれずに在庫切れとなるケースもあった。
- (4) 特徴的な好調商材としてウォーキングシューズとスーツケースが報告されている。今回の震災を切っ掛けに、緊急時の動きやすさを求めた消費行動と考えられる。
- (5) 都内各店の4月中旬までの売上動向は、概ね前年実績を若干下回る水準で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 29.8日 (前年同月比-1.2日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した:1店、②変化なし:0店、③減少した:18店、④不明:2店
- (3) 3月歳時記 (ひな祭り、彼岸、ホワイトデー、卒業・入学、新社会人) の売上 (同上)
 - ①増加した:0店、②変化なし:1店、③減少した:8店、④不明:12店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する:4店、②変化なし:1店、③減少する:13店、④不明:3店

NEWS LETTER

東京地区百貨店 売上高速報 2011年03月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	103,130,611	100.0	-21.5 (-21.8)
紳士服・洋品	6,682,959	6.5	-27.9 (-28.0)
婦人服・洋品	18,535,354	18.0	-34.4 (-35.6)
子供服・洋品	4,584,082	4.4	-12.9
その他衣料品	2,784,240	2.7	-5.4
衣 料 品	32,586,635	31.6	-28.8 (-29.6)
身のまわり品	12,375,803	12.0	-29.3 (-30.2)
化粧品	5,710,057	5.5	-17.6 (-19.7)
美術・宝飾・貴金属	4,527,151	4.4	-32.3 (-32.3)
その他雑貨	6,426,426	6.2	-13.1 (-13.2)
雑 貨	16,663,634	16.2	-20.7 (-21.4)
家 具	2,938,871	2.8	26.6 (26.3)
家 電	856,579	0.8	21.0
その他家庭用品	4,041,065	3.9	-19.1 (-19.1)
家 庭 用 品	7,836,515	7.6	-2.4 (-2.4)
生 鮮 食 品	4,260,192	4.1	-11.3 (-8.4)
菓 子	7,812,492	7.6	-22.1 (-21.3)
惣 菜	5,378,080	5.2	-16.5 (-15.0)
その他食料品	8,255,536	8.0	-6.4 (-5.6)
食 料 品	25,706,300	24.9	-14.6 (-13.3)
食 堂 喫 茶	2,172,305	2.1	-35.8 (-36.2)
サ ー ビ ス	2,148,102	2.1	1.6 (-2.0)
そ の 他	3,641,317	3.5	7.2 (7.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商 品 券	8,002,747 千円	11.8 (11.4)
従 業 員 数	20,369 人	-1.4
店 舗 面 積	937,107 m ²	0.3

営 業 日 数	29.8 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、昨年8月以来7か月ぶりに全品目がマイナスとなった。その他の品目では、家具が2か月連続、家電が3か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-21.5	—	3か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-27.9	-2.0	6か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-34.4	-7.4	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	-12.9	-0.5	3か月連続マイナス
その他衣料品	-5.4	-0.1	35か月連続マイナス
衣料品	-28.8	-10.1	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	-29.3	-3.9	4か月ぶりマイナス
化粧品	-17.6	-0.9	3か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	-32.3	-1.7	2か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-13.1	-0.7	34か月連続マイナス*
雑貨	-20.7	-3.3	3か月ぶりマイナス
家具	26.6	0.5	2か月連続プラス
家電	21.0	0.1	3か月連続プラス
その他家庭用品	-19.1	-0.7	9か月ぶりマイナス
家庭用品	-2.4	-0.1	7か月ぶりマイナス
生鮮食品	-11.3	-0.4	4か月連続マイナス*
菓子	-22.1	-1.7	2か月ぶりマイナス*
惣菜	-16.5	-0.8	5か月連続マイナス*
その他食料品	-6.4	-0.4	2か月連続マイナス*
食料品	-14.6	-3.3	2か月連続マイナス
食堂喫茶	-35.8	-0.9	5か月連続マイナス
サービス	1.6	0.0	12か月連続プラス
その他	7.2	0.2	12か月連続プラス
商品券	11.8	0.6	20か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>